

- 問1 フィリピンは東南アジアの中でも、国民の多くがキリスト教（カトリック）を信仰しているという独特の文化を持っています。このような宗教分布が形成された歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）
- 16世紀からスペインの植民地支配を受け、キリスト教の布教が強力に進められたため。
 - 古くから大陸の仏教文化の影響を受け、独自のキリスト教文化を発展させてきたため。
 - 17世紀にオランダの統治下に入り、ヨーロッパ諸国との交易を通じて信仰が広まったため。
 - アメリカの植民地時代に、英語教育とともにカトリックが国教として定められたため。
- 問2 インドとブラジルの畜産業を比較した統計において、両国とも牛の飼育頭数は世界有数ですが、その利用目的には大きな違いがあります。ブラジルでは牛肉の生産や輸出を目的とした肉牛の放牧が盛んですが、インドでは食肉用ではなく、主に乳製品を得るための乳牛としての利用が中心となっています。インドでこのような特徴が見られる背景として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）
- 政府が急激な経済発展に伴う環境破壊を防ぐため、家畜の食肉処理を法律で制限しているため
 - 人口の約8割を占めるヒンドゥー教徒の間で、牛が神聖な動物として崇められ、肉食が避けられているため
 - イスラム教の教えが社会全体に浸透しており、牛と豚の両方の食用が厳格に禁止されているため
 - 国土の大部分が乾燥帯に属しており、肉牛を育てるための牧草が不足しているため
- 問3 中国の人口構成と民族に関する記述として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2020年 熊本県公立入試 類似）
- 中国は単一民族国家であり、漢族以外の民族は居住していない。
 - 漢族は主に内陸部の山岳地帯に居住する、人口の少ない民族である。
 - 清を建国した満州族が、現在の中国において最も人口が多い民族である。
 - 人口の約9割を占める漢族のほか、55の少数民族が暮らしている。
- 問4 インドの人口統計において、15歳未満の若年層の割合が非常に高く、年齢が上がるにつれて男女ともに割合が減少していくことで、グラフにした際に裾野の広い三角形の形になるものを何と呼びますか。（2022年 香川県公立入試 類似）
- 人口ピラミッド
 - 階級区分図
 - 等値線図
 - 人口密度図
- 問5 アジアの諸国に関する統計資料において、国土面積に対する森林面積の割合が0.5パーセントと極めて低く、年間の一人当たり二酸化炭素排出量が14.27トンと非常に高い数値を示している国があります。この国の特徴として最も適切な説明を選びなさい。（2025年 愛知県公立入試 類似）
- サウジアラビアであり、国土の大部分が乾燥帯に属するため樹木が育ちにくく、豊富な石油資源の産出と消費によって排出量が多くなっている。
 - インドであり、人口増加にともなう耕地拡大により森林が減少しており、石炭を主燃料とした火力発電への依存から排出量が増加している。
 - インドネシアであり、熱帯雨林の減少が問題となっている一方で、一人当たりの経済水準が急速に向上したことで排出量が急増している。
 - 中国であり、急速な工業化にともなって森林破壊が深刻化しており、膨大な人口によるエネルギー消費で排出量が世界最大となっている。
- 問6 南アジアに位置するインドでは、人々の生活に宗教が深く結びついています。この国で最も多くの人が信仰しており、牛を神聖な動物として尊んだり、ガンジス川で「沐浴」を行ったりする特徴を持つ宗教として正しいものを選択してください。（2018年 福岡県公立入試 類似）
- ヒンドゥー教
 - イスラム教
 - 仏教
 - キリスト教
- 問7 中国の内陸盆地である四川地方において、その土地の農業や地形的条件と深く結びついた食文化の特徴として正しいものはどれですか。（2021年 大分県公立入試 類似）
- 広大な牧草地を利用した羊肉の料理が中心で、小麦の粉を練って焼いたナンを主食とする文化。
 - 盆地で生産される大豆や香辛料をふんだんに使った、マーボー豆腐などの辛みの強い料理。
 - 小麦を主原料とした皮で具材を包む八宝菜を中心とした、蒸し料理や煮込み料理。
 - 長江の下流域で獲れる魚介類を主役とし、素材の味を活かした砂糖と醤油による甘辛い料理。
- 問8 東京を中心とした正距方位図法による世界地図において、東京から見て南西方向に位置するインドという国について、その宗教的特色を説明したものとして適切なものはどれか。なお、この国には大勢の人々が河川に入り、身を清めながら祈りを捧げる光景が見られる。（2023年 鳥根県公立入試 類似）
- 古くから仏教が盛んであったが、現在は欧米文化の影響を強く受け、キリスト教徒が人口の過半数を占める。
 - 東南アジアに位置する多民族国家であり、メコン川流域で稲作を営みながら主に仏教を信仰している。
 - 西アジアから伝播したイスラム教が国教となっており、一日に五回の礼拝が義務付けられている。
 - 人口の約8割がヒンドゥー教を信仰しており、牛を神聖な動物として大切にする文化がある。
- 問9 1986年に「ドイモイ（刷新）」と呼ばれる政策を導入して市場経済化を進めたベトナムでは、2000年から2018年にかけて日系企業の進出が急速に拡大しました。この背景にある、ベトナムの経済状況と日本との関係についての説明として最も適切なものはどれですか。（2022年 鳥取県公立入試 類似）
- 主な輸出相手国は中国とアメリカに限定されており、日本との貿易額はドイモイ政策の開始以降、減少傾向にある。
 - 一人当たりの国内総生産がタイやマレーシアより低く、安価で豊富な労働力を求めて多くの日本企業が進出した。
 - 進出日本企業数が急増した理由は、ベトナムが東南アジアで最大の人口を持ち、最大の輸出相手国が日本のみに限定されているためである。
 - 一人当たりの国内総生産がすでに日本と同水準に達したため、日本企業は製造拠点としてではなく、主に高級品の販売市場として進出している。
- 問10 ペルシア湾に面したアラブ首長国連邦（UAE）の都市の一つで、石油によって得た豊富な資金を背景に、世界最高峰のビルであるブルジュ・ハリファの建設や大規模なリゾート開発を進め、急速に発展を遂げた都市はどこですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）
- アブダビ
 - ドバイ
 - リヤド
 - ドーハ
- 問11 世界各地で見られる地域協力の枠組みのうち、東南アジア諸国連合（ASEAN）が掲げている主な目的や特徴として適切なものはどれですか。（2022年 山口県公立入試 類似）
- 石油の価格や生産量を調整し、加盟している産油国の利益を保護する。
 - 域内の経済成長を促進し、政治的・社会的な安定や文化の発展を図る。
 - ヨーロッパ全体の経済や政治の統合を進め、共通の通貨であるユーロを導入する。
 - 太平洋を取り囲む国々で、自由な貿易や投資を行うための緩やかな協力を行う。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 16世紀からスペインの植民地支配を受け、キリスト教の布教が強力に進められたため。	フィリピンの宗教分布は、大航海時代以降のヨーロッパ諸国による植民地支配と密接に関係しています。16世紀にスペインがこの地域を領有した際、植民地支配の確立とともにカトリックの布教を推進した結果、現在のような宗教構成が作られました。国名自体も当時のスペイン皇太子フェリペに由来しています。
問2	答え 2 人口の約8割を占めるヒンドゥー教徒の間で、牛が神聖な動物として崇められ、肉食が避けられているため	インドでは全人口の約80%がヒンドゥー教を信仰しています。ヒンドゥー教において牛はシヴァ神の乗り物とされるなど非常に神聖な動物とされており、殺して食べることはタブーとされています。しかし、牛乳やそれを加工したバター（ギー）などは貴重な栄養源として認められているため、畜産業は「乳製品の生産」に特化した形で発展しました。このように、特定の宗教の教えがその国の産業構造や統計データに強く反映される典型的な事例です。
問3	答え 4 人口の約9割を占める漢族のほかに、55の少数民族が暮らしている。	中国は広大な国土の中に、圧倒的多数派である漢族と、チベット族やモンゴル族などの55の少数民族が共存する多民族国家です。少数民族が居住する地域には、その自治を認める「自治区」が設けられている場所もありますが、総人口に占める少数民族の割合は約1割にとどまります。
問4	答え 1 人口ピラミッド	男女別・年齢別の人口構成をグラフ化したものを人口ピラミッドと呼びます。インドのような発展途上国では、出生率が高いために若年層の割合が大きくなり、グラフの形が底辺の長い三角形（富士山型）になるのが特徴です。これに対し、先進国では少子高齢化の影響で、中央部が膨らんだ釣鐘型や、若年層が極端に少ないつぼ型へと変化する傾向があります。
問5	答え 1 サウジアラビアであり、国土の大部分が乾燥帯に属するため樹木が育ちにくく、豊富な石油資源の産出と消費によって排出量が多くなっている。	サウジアラビアは降水量が極めて少ない乾燥帯に位置するため、森林面積割合が1パーセントにも満たないという特徴があります。一方で、世界有数の石油産出国であることから、国内のエネルギー消費において石油やガスへの依存度が高く、一人当たりの二酸化炭素排出量は先進工業国や他のアジア諸国と比較しても突出して高い傾向にあります。
問6	答え 1 ヒンドゥー教	インドの人口の約8割が信仰する民族宗教です。多神教であり、古くから身分制度（カースト制度）とも深く関わってきました。生活習慣としては、牛を神聖視して食べないことや、聖なる川で体を清める「沐浴」を行うといった、独自の文化が根付いています。
問7	答え 2 盆地で生産される大豆や香辛料をふんだんに使った、マーボー豆腐などの辛みの強い料理。	四川地方は内陸の盆地という地形的特徴から、夏は高温多湿、冬は冷え込みが厳しい環境にあります。こうした気候を乗り切るために、刺激の強い香辛料を多用する工夫がなされました。盆地内で栽培される大豆を原料とした豆腐と、独自の香辛料を組み合わせた料理がこの地域の特色です。
問8	答え 4 人口の約8割がヒンドゥー教を信仰しており、牛を神聖な動物として大切にす文化がある。	インドはヒンドゥー教徒が多数を占める国であり、宗教的な理由から牛を神聖視し、牛肉を食べないなどの独特な食文化や習慣が存在する。設問にある「河川に入り身を清める光景」はガンジス川における沐浴を指しており、これはヒンドゥー教の重要な儀礼の一つである。仏教はインドで誕生したが、現在のインドにおける信仰の主流はヒンドゥー教である。
問9	答え 2 一人当たりの国内総生産がタイやマレーシアより低く、安価で豊富な労働力を求めて多くの日本企業が進出した。	ベトナムは1986年のドイモイ政策導入により、社会主義の体制を維持しながら市場経済へと舵を切り、外資を積極的に受け入れてきました。タイやマレーシアなどの周辺国と比較すると、一人当たりの国内総生産はまだ低い段階にありますが、その分労働コストが抑えられるため、多くの日本企業が新たな生産拠点（工場）として進出を強めています。主な輸出相手国にはアメリカ、中国、日本が名を連ねており、世界的な製造拠点としての存在感を増しています。
問10	答え 2 ドバイ	アラブ首長国連邦（UAE）を構成する首長国の一つであり、砂漠地帯に位置しながらも、石油マネーをインフラ整備や観光資源へ積極的に投資することで世界的な観光・金融都市へと成長しました。特に高さ828メートルを誇るブルジュ・ハリファは、この都市の経済発展の象徴となっています。
問11	答え 2 域内の経済成長を促進し、政治的・社会的な安定や文化の発展を図る。	東南アジア諸国連合（ASEAN）は、地理的に近い東南アジア諸国が協力することで、国際的な競争力を高め、地域の平和と経済成長を目指す組織です。加盟国間の関税を原則として撤廃するなど、経済的な一体化を強く進めている点が特徴です。